

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	Ⅱ 20 (8) Ⅲ 23 (9) (10)	個別ケアとして本人がこれまで大切にしてきたものを継続支援できるように、ミーティング、申し送り、介護計画の作成を行っている。	個々の利用者がその人らしく生活してもらうためミーティング、申し送り等、情報共有方法また介護計画の交付についても見直しを行う。	・申し送り簿の記載をより細やかな内容とするため 様式の見直しや介護記録の勉強会を行う。 ・職員間で共通認識を持つため計画書の交付前には回覧等を行い、記録用紙とサービス内容を	12ヶ月
2	I 2 Ⅲ 35	利用者の散歩痔での近隣住民との挨拶や地域の夏祭りへの参加は行っているが近隣住民の来訪は少ない。自治体へは加入しているが回覧板はない。	利用者が地域の一員として暮らせるよう自治会活動などに参加すると共に、事業所も地域の一員としての関係づくりを構築する。	・月1回以上を目標に外出行事を計画実施する。 ・ホームページの更新を定期的に行う。 ・広報等を地区の回覧板に載せてもらう。 ・避難訓練は消防署員立ち会いの他、地域の消防団・地域住民の参加を促す。 ・法人発行の機関誌に行事情報を載せる	12ヶ月
3	I 6	帰宅願望の強い人には、外に出て気分転換を図るなどしているが、玄関ドアは暗証番号で開錠するようになっている。	身体拘束が入居者に与える身体的・精神的苦痛を理解し、入居者の安全に配慮しながら、玄関に鍵を掛けないケアを実践する。	・併設のデイサービス以外の時間は手動にしておき鍵を掛けない。また、時間を決めて解放するなどの対応を行う。	12ヶ月
4	I 3 I 4 (3)	運営推進会議は同一敷地内の特別養護老人ホームを同一開催であるため入居者、行事等の報告事項が中心である。家族を含めて外部のメンバーの会議参加が少ないことから開催日程の検討が行われている。参加しやすい開催日を再検討、市町村の担当者との連携が必要。	参加者増員の工夫、議題を事業者側のサービス向上につながる話題提供など幅広い外部の意見を集約できるようにする。	・会議に参加可能な家族を新たに呼びかける。 ・現在は議事録を閲覧可能な場所(玄関内)に設置しているのみであるが参加できない家族に対しても議事録を交付する。 ・開催日時の設定について、参加者に意見をうかがう。	12ヶ月
5	I 10 (6)	家族とは面会時に意見要望が話し合われ、毎月の利用請求時に利用者の様子や訪問診療情報提供書等文章同封し家族との情報共有に努めている。	事業者側として運営に関する意見等が徴収できるように機会作り場作りを検討する。	・家族面会時に、施設運営についても意見を伺うようにする。 ・アンケートを実施する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。